

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】中・高英語教育における「異文化理解」指導の理論と方法	講習形態	講義 (遠隔授業)
開設者	長崎大学	定員	60 名
開設日/時間	令和3年6月26日(土) / 9:25~17:00	会場	インターネットに安定して接続できる場所(職場もしくは自宅など)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校(英語) 教諭

担当教員(講習責任者) / Eメールアドレス/TEL  
鈴木 章能 (人文社会科学域) / Eメールアドレス: kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / TEL: 095-819-2872

担当教員(分担当等)

講習のねらい/講習方法/講習到達目標

講習のねらい: 異文化理解と多様性の尊重の意義と盲点、外国語教育と異文化理解との密接な関係を理解したうえで、教室での総合的な[異文化理解]指導の取り組みについて知見を深めること。

講習方法: 講師が午前・午後3時間ずつの講習を担当し、30分の筆記試験を行う。プリント資料を配布する。

講習到達目標: 異文化理解の今日的意義と課題、ならびに課題の克服の方法、言語表現と世界平和促進の有機的な関係を理解すること。効果的な「異文化理解」指導に関する最新の知識を持つこと。

講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード

講習内容(概要)

中・高の英語科教育における「異文化理解」指導について、最新かつ効果的な指導方法について学びます。異文化理解は英語の理解や他国との COIL 型授業、また人間の発達に重要です。しかし、教え方によって無理解や分断、自民族中心主義を生み出します。その原因が差異への注目です。なぜでしょうか。どうすればいいでしょうか。エンゲージメント、マインドセット、理解することの意味、多様性の尊重とその今日的課題、表層的な言語理解から心を理解する言語理解へ、我々を取り巻く教育と世界の今日的課題、質を担保する BEVI 測定等最新の知見を紹介しながら、皆さんとともに考え解説していきます。

講習計画・内容

内容等	時間	担当教員
オリエンテーション	9:25~9:30	鈴木 章能
講義1【異文化理解の最新の考え方】 (小休憩20分含む)	9:30~12:50	鈴木 章能
昼休憩【50分】	12:50~13:40	-
講義2【外国語教育と異文化理解の指導、文学教材の可能性】 (小休憩20分含む) 筆記試験30分	13:40~17:00	鈴木 章能

キーワード (異文化の指導) (多様性と類似性) (文学と世界平和) (世界文学)

成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。
教科書・教材・参考書	指定図書はありませんが、当日、推薦図書を記載したプリントを配布します。
各自で準備するもの	英和辞書、ノートは必携です。電子辞書でも可ですが、なるべく例文の多い辞書が望まれます。 パソコンまたはタブレット(可能な限りパソコンで受講ください)・カメラ・マイク ※パソコン等に内蔵されていればカメラおよびマイクは必要ありません。
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。

